

厳寒の高原大パノラマと雪原の銀世界を歩く 美ヶ原スノーシュー・ハイク

実施日 2015年2月7日(土)～8日(日)
 天候 2/7 晴れ / 2/8 風と雪
 リーダー 石原 勝正
 参加者 若村勝昭、若村貴世子、涌井良明、石附智江、中村友子、伊藤久雄、宇野輝代、石原勝正 計8名
 費用 JR12,700円(新宿駅起算)
 宿泊費 9,720円 計13,620円
 タイム 2/7 山本小屋(13:00~13:50)塩くれば(14:00~14:40)茶臼山(15:00~16:10)山本小屋
 2/8 山本小屋(9:10~9:25)美しいの塔(9:30~以後ホワイトアウトのためコース前進を断念し山本小屋に9:50帰還)

2/7 山本小屋～茶臼山往復コース

参加者各自が近隣の駅からJR新宿発8時発のスーパーあずさ5号に乗車し上諏訪駅で合流し普通電車の松本駅に乗り換え下諏訪駅で下車。

天候は晴れでスーパーあずさの車中では雪に覆われた鳳凰三山、南アルプスの山々、八ヶ岳連峰と車窓の眺望をみながら銀世界の美ヶ原高原のスノーシュー・ハイクに期待を高める。

10時30分の山本小屋主人の運転する送迎車に乗り宿に向い1時間ほどで山本小屋に到着。

宿にチェックインしそれぞれ昼食を取った後冬山装備の準備をして午後1時に玄関前に集合。宿の主人にお願いしてスタート前の集合写真を撮る。

茶臼山コースは天候が崩れると強風と雪でホワイトアウトになり道迷いから遭難の危険があるので厳禁とアドバイスされる。今日は晴れているので距離が長い茶臼山コース、天候が崩れ



るといふ予報の明日は王ヶ頭コースを歩くことに変更する。

涌井さんと伊藤さんの2人はワカン、他の6人はスノーシューを履いてスタートする。小屋の玄関前広場から大雪原に出ると西南西から冷たい強風が顔に吹き付ける。アウタージャケットとフード、防寒帽子(目出帽)、防寒手袋、ゴーグル(サングラス)の冬山用完全装備でも顔や手が痛くなるほど寒さが厳しい。



幸い晴れているので、目的地である茶臼山や美しいの塔、王ヶ頭の電波等を見通すことができ迷うことはない。

遠景に屏風のように連なる穂高・槍ヶ岳・白馬等の北アルプス連峰を見ながら厳冬期の大雪原の真ただ中を一つ列になつて進む。

美ヶ原のシンボルといわれる美しいの塔、牧場の塩くれば場を通過し、百曲りへの分岐の標識を左に曲がる。トレースは強風で消されてしまうため茶臼山方面に向かって踏み跡らしき場所を探しながら暫く進むと美ヶ原牧場の柵の外に出る。



ルートは今までの雪原から茶臼山への尾根筋に入る。右側が崖となっているので雪庇に注意し

ながら少し下ると茶臼山への登りとなる。雪原を抜けると山影に入ったせいか厳しく顔に当たっていた風雪も弱まり山頂へのトレースもしっかりと確認することができる。



30分ほど登りで手



足や体も温まり山頂に到達する。山頂では八ヶ岳連峰、富士山、車山、浅間山、南・中央アルプス、御

岳、乗鞍等連なる峰々を十分に堪能して集合写真を撮る。

復路は牧場の柵まで往路と同じルートに戻るが、塩くれば、美しいの塔を経由せず直接山本小屋に向かう直線ルートを選ぶ。



再び雪原では強風のためトレースは見分けがつかないが山本小屋手前の雪原でハングライダーの帆を利用して滑るスノーボーダーの帆を目標にして無事全員帰還する。



宿では温泉の展望風呂に入り、キジ鍋、お刺身、ビールなど豪華なメニューの夕

食を堪能し、食後の反省会を楽しんだ後10時過ぎに就寝する。

2 / 8 山本小屋～王ヶ頭コース

5時過ぎに起床。早朝の空は風が強く雲が流れているものの展望もあり朝日も部屋に差し込み今日の天気回復が期待される。

7時30分から朝食をとり装備を整え予定の9時に玄関前に集合してみると、期待が外れ天候は崩れており、強風と雪・ガスで雪原はホワイトアウトの状態になっていた。

昨日見えた美しいの塔、王ヶ頭の電波塔、浅間山から北アルプスまで連なる連峰もまったく見えない。ガスが切れて方向が

特定できるまで待機することも考えたが予報によると天候の回復も見込まれないので、とにかく王ヶ頭に向けて行けるところまで行ってみようと相談して出発する。

道迷いによるメンバーの脱落を防ぐためロープを結んで行動するのが基本と思われたがパーティ全員間を空けないよう1列に連なって進む。

昨日に増す強風と寒さに晒される悪天候のため途中から1名小屋に戻ったため、残りのパーティ7人で前進する。依然として続く強風と雪の中を雪原の柵や木柵を頼りに20分ほど進んで美しいの塔まで到達する。厳しい風雪と寒さで美しいの塔をバックにワンショット撮った後これ以上進んでも道迷いの危険が高いと判断して予定のコースを断念、全員山本小屋まで戻ることとなった。

今回の山行は雪崩の危険もなく、ラッセルワークやアイゼンを必要とする危険な稜線や岩場の傾斜もないため誰でも参加できる安全な美ヶ原高原の雪原スノーハイクとして計画したが、2日目は思わぬ天候の崩れで厳冬期の強い風雪でホワイトアウトに遭遇してしまった。

私自身もこぶし会の雪山登山を入会以来複数回参加してきたが強風による厳寒と雪原でのホワイトアウトは今回が初めての経験となった。

残念ながら山行を断念して宿に帰還したが、強風とホワイトアウトの中で地図とコンパスを利用する訓練やメンバー同士ロープを結んで行動する雪上訓練を行うチャンスであったかとも思われ私自身いろいろ考えさせられる貴重な山行になった。

最後に今回の宿泊山行中不慣れなリーダーに対し参加者皆さんからのご協力と価値あるアドバイスをいただき1日目のスノーハイクだけでも遂行することができたことに感謝します。

(記&写真・石原 勝正)

(写真提供・涌井良明/伊藤久雄)